

とちぎ産業看護研究会の紹介と職場で好評だった感染症対策について

今回は、とちぎ産業看護研究会の紹介と、筆者が所属する事業所で好評だった感染症対策の2本立てでお送りします。

1. とちぎ産業看護研究会について

とちぎ産業看護研究会は、平成元年5月に発足し今年で32年目となります。メンバーは2021年2月時点で39名、産業看護職歴1年目～20年目と幅広く、また活躍するフィールドも企業や工場、健診機関、健康保険組合、公的機関等と実に様々です。

産業看護職（保健師や看護師）は1人配置の職場が多く、先輩不在の環境で孤軍奮闘しているメンバーが多数います。行政保健師や病院看護師のように教育システムが充実しているとは言い難く、1人ひとりが興味のある研修や勉強会に参加しながら自己研鑽をしています。当会にはそんな産業看護職が集まり、企画から実施まで会員による手作りで年4回程研究会を開催しています。最新の医療情報、メンタルヘルス、喫煙対策、保健指導、治療と仕事の両立支援、職場救急、職場環境改善などテーマは様々で、著名な講師を招聘したり、グループワークを通して情報交換を行ったり、職場での活動紹介を行ったりしています。仲間がいることがそれぞれの職場での産業看護活動の活力になるのです。

さて、産業看護職の主な業務内容と企業内に看護職がいることのメリットについてお伝えしたいと思います。主な業務内容は、労働安全衛生法に則り、健康診断の実施や事後フォロー、メンタルヘルス対策として相談窓口やストレスチェックの実施、病気のため休職している従業員へ休職中から復職後までの支援、感染症対策、衛生委員会の参加や職場巡視、ラインケア等、全従業員が安心かつ安全に働くために実に様々な業務に携わっています。産業看護職が職場にいることのメリットとして、1次予防～3次予防まで包括的に携わることができること、従業員の身近で心身の健康に携わることができること等が挙げられます。人生100年時代を迎え、定年退職の年齢も引き上げられている今日において、事業主においても労働者にとっても、いつまでも元気に健康でありたいという共通の思いがあります。そんな当たり前の思いに、産業看護職はそっと寄り添い心身のサポートができます。ぜひ、1社に1人産業看護職はいかがでしょうか。また、産業看護職に興味がある方、研究会で一緒に学んでみたい方、ぜひお気軽にお問合せ下さい。（TEL：028-643-0685）

2. 職場で好評だった感染症対策について

筆者が所属する企業では、健康診断を依頼している医療機関の協力のもと、全事業所を対象に巡回インフルエンザ予防接種を実施しています。従業員からは、「病院に行かなくて済むので良い」「業務時間内に受けられるので助かる」等、嬉しいご意見をたくさん頂いています。当社の福利厚生の一環として、インフルエンザ予防接種に対して、1人2,000円の補助があります。2020年度は約1/3の従業員が予防接種を実施し、手洗い消毒・三密回避・マスク着用などの新型コロナウイルス感染症対策と相まって今日までにインフルエンザに感染したという報告は0件となっています。今後も、職員の皆様が元気かつ健康で働き続けられるように支援を行って参ります。

作成：とちぎ産業看護研究会（令和3年3月）